

2019年10月17日

質問回答

モンゴル語人材育成奨学計画準備調査(QCBS方式)

(公示日:2019年10月2日/公示番号:19a00295)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	配布資料10:対象分野課題表(案)	民間企業を対象に入れることは可能か。	募集対象機関については、準備調査の中で検討、協議する予定です。
2	P11(5) 想定される人数及び受入計画概要(案)	前フェーズでは博士課程は2名ずつの受入れであったが、今回は博士課程1名ずつとのこと。人数が減った理由はあるか。	受入計画案については、これまでのJDSの実績や成果、国別開発協力計画等の方針や計画等を勘案し、運営委員会での協議などを踏まえて総合的に検討したうえで作成しております。
3	P15(11) モンゴル政府の便宜供与 および 配布資料4:業務分掌表	現地調査に係る省庁へのアポイント取り付けはすべてモンゴル政府/JICA側が行うという理解でよいか。また、帰国生へのヒアリングのアポイント取り付けは、すべて受注者側が行うという理解でよいか。	アポイント取付がよりスムーズにいくよう、発注者と受注者の間で契約締結後に詳細は相談予定です。一般的に1回目の調査での初回アポイントはJICA側が行い、2回目以降については、受注者からのアポイントメントがスムーズな場合には受注者側に依頼する事例が多いです。
4	P15(11) モンゴル政府の便宜供与	取り纏め機関となる省庁はどこか。	現フェーズで運営委員会の議長を務める教育・文化・科学省の予定ですが、調査の過程で変わる場合があります。
以上、10/7 回答済み			

5	P13(2) 調査のプロセスおよびP19 (1) 業務工程	2020年1月頃に現地調査を1回実施すると理解しているが、一方で「2020年2月下旬～3月上旬頃、先方政府 JDS 運営委員会に対し、受注者が同計画案を説明する。」とある。2回現地渡航が発生するのではないのでしょうか。	ご質問のとおり、コンサルタントによる現地調査は1月及び2月下旬～3月上旬頃の2回を想定しています。
---	----------------------------------	---	---

以上